

(様式 2)

女性の就農環境改善計画

実施主体名	ポタジェファム
取組	地域の女性農業者グループの活動支援
構成員数	35名(農業者18名、関連事業者17名 内女性35名) (令和4年5月時点)

1 事業実施方針

- ・ポタジェファムは、平成29年度に、30代～40代の女性農業者5名で立ち上げた組織である。
- ・設立後5年が経過し、会員を女性農業者だけでなく、関連事業者(加工・観光・福祉等)に広げ、資質向上や相互の連携強化により、経営発展や地域活性化を目指している。
- ・令和3年度に農林水産省「地域の女性グループ研修」を受講し、組織の共通目標、組織設計、企画・立案について学んだ。
- ・研修受講をきっかけとし、新たに4つの専門部(コミュニケーション部・情報発信部・マルシェ部・商品開発部)を立ち上げ、活動を始めた。
- ・その中でも、商品開発については、新型コロナウイルス感染症等の影響により農産物価格が低迷する中、組織力を活かした女性ならではの魅力的な商品を作りたいとの思いが強い。
- ・商品開発部の活動を軌道にのせるため、最初の取組として、会員が生産する農産物を活用した「野菜セット」・「加工品セット」の商品化に取り組む。

■ミッション(存在意義)

人と人をつなぎ、次世代に鹿児島県の農と食の魅力を伝える。

■ビジョン(なりたい姿、目標)

鹿児島県の食材でみんなをスマイルにする。

食と農業の課題解決に取り組む。

女性のときめく夢を形にし、心も経済も豊かにする。

(注) 具体的に記載してください。

2 女性就農環境改善に向けた実施体制

- ・会長 1名、会計 1名、監事 1名、各専門部部長 4名で活動。
- ・令和4年度から新たにコミュニケーション部、情報発信部・マルシェ部・商品開発部を設置。
- ・組織運営について、市・県の農政担当部署と常に連携をとっており、鹿児島市においては、グリーン・ツーリズム推進団体としての登録も受けている。(令和3年度～)

・会員 35名（農業者 18名 ・関連事業者 17名）	
会 長	マルタカ菜園
会 計	(有)坂之上製茶
会 員	(有)ファームランド櫻島
	押領司農園
	そのやま農園株式会社

(注) 応募団体での受入体制や関係機関との連携状況等を具体的に記載してください。

第4の(1)の事業の応募者については、協議会等に属する構成員について5名以上の農業者(女性1名以上を含む)の氏名を記載してください。

3 女性就農環境改善のため実施している取組及び今後の取組

(1) 女性の就農希望者、新規就農者の呼び込みに向けた取組

内容	成果/目標	備 考
(実施中の取組)	(令和3年度)	
1 就農希望者の研修・体験受入 会員である旅行事業者と連携し、農業インターンシップの受入を実施。	女性3名	
2 女性農業者の活躍の情報発信 ・パンフレット作成・配布 ・SNS(インスタグラム・フェイスブック)	年間2,500部 週1回	
(今後の取組)	(目標)	
1 就農希望者の研修・体験受入継続	年間 3名	
2 女性農業者の活躍の情報発信継続 ・パンフレット作成・配布 ・SNS(インスタグラム・フェイスブック) ※情報発信部を立ち上げ、情報発信の回数や内容を工夫していく。	年間2,500部 週2回	

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 女性の新規就農者の農業や地域への定着に向けた取組

内容	成果/目標	備 考
(実施中の取組)	(令和3年度)	

1 総会・情報交換会の開催 情報交換を行い、会員同士の親睦を深め、ネットワーク構築を促した。	令和3年3月開催 (年1回)	
2 研修会の開催 (1) 販売力向上研修会の開催 価格の決め方や流通のしくみについての研修を行い、農産物の付加価値向上について学習した。 (2) 農林水産省補助事業「地域の女性グループ研修」の参加 ・ミッション・ビジョン・バリューの検討 ・組織設計・企画立案	令和3年7月開催 令和3年 10 月 11 月、12 月 令和4年 1月	
3 「ポタジェファムを語ろう」(意見交換会)の開催 1回目は、組織のネットワークを生かした活動(野菜セット・加工品開発・やさいバスの導入)について、夢を語り合った。 2回目は、組織設計・マルシェの企画・立案について具体策を検討した。	令和3年 9月 令和4年 1月	
(今後の取組)	(目標)	
1 総会・情報交換会の開催	年1回	
2 交流会の開催	年6回	
3 会員農場訪問の実施 ※コミュニケーション部を立ち上げ、定期的な交流会(茶話会・ランチ会・のみ会)や会員農場訪問を計画する。	年2回	
4 マルシェの開催	年 12 回	

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(3) 女性就農環境改善に向けた取組

内容	成果/目標	備考
(実施中の取組)	(令和3年度)	

<p>1 マルシェの参加 行政や会員が実施するマルシェに参加し、情報発信や消費者交流を行った。 組織の知名度向上・関係機関・団体との連携により、実施回数が増加した。(年1回→7回)</p>	7回/年	
<p>2 会員の農産物を活用した新商品開発 委託加工によるピクルス、野菜セットをマルシェ限定で、試験的に販売した。</p>	ピクルス販売(2回) 野菜セット (1回)	
(今後の取組)	(目標)	
<p>1 マルシェの定期的な開催 マルシェ部を立ち上げ、月1回を目標に、定期的にマルシェを開催できる体制を整備する。</p>	月1回	
<p>2 会員の農産物を活用した新商品開発 商品開発部を立ち上げ、マルシェだけでなく、常時販売できる体制を整備する。 最初の取組として、「野菜セット」・「加工品セット」の商品化を目指す。 専門家によるセミナー・ワークショップにより、商品開発の手順やコツを学び、試作品を作る。 実際に、マルシェでテスト販売し、その結果を今後活かす。</p>	野菜セット商品化 加工品セット商品化	

(注) 農業委員等に選出された等、地域での活躍状況等を「内容」欄に具体的に、取組内容等を含め記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

4 女性の就農環境改善対策事業を活用した取組の計画内容

(1) 働きやすい環境整備への支援

【計画内容】

時期	内容 (対象者・方法等)	備考

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、第4の(1)の事業の応募

者は、確保する施設等について5名以上の女性の利用者がいることがわかるよう記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 地域の女性グループの活動支援

【課題】 ※簡潔にご記入ください。※課題番号は必要に応じて追加・削除ください。

①	コロナ禍等の影響による農産物価格・販売量低迷、鹿児島県の農業と食の魅力発信向上
②	商品企画から販売までが見通せない。マーケティング・ブランディングについて学ぶ機会がない。パッケージデザインの知識不足。

【課題解決のための補助事業（概要）】※課題番号に対応するように記入ください。

①	商品開発に向けた試作品の開発、包装・シールの作成、テスト販売の実施
②	商品開発の観点と進め方、商品企画・食品製造の始め方・販路開拓、パッケージデザインと包装仕様

【事業成果と今後のプラン】

※課題番号に対応するように記入ください。

※どのようにグループ活動の活性化及び今後の活動に繋がるか分かりやすく記入ください。

※できる限り、数値目標を入れてください。

※商品計画については、翌年度以降の販売事業計画をご記入ください。

①	野菜セットと加工品セットを1セットずつ開発する。
②	基本的な商品開発知識や流通を学び、グループでの商品開発や各農園等の経営に役立たせる。セミナーの開催（計5回）

【事業内容（詳細）】

課題番号	時期	グループ活動内容（対象者・方法等）	事業実施経費（費目、金額）	備考
②	令和4年6月 令和4年7月 令和4年8月 令和4年9月 令和4年10月	1 商品開発のためのセミナー・ワークショップの開催 ・「商品開発の観点と進め方」セミナー ・「パッケージデザインと包装仕様」セミナー ・「ポタジェファムの商品企画」ワークショップ	委託費（セミナー開催業務一式5回）350,000円	

		<ul style="list-style-type: none"> ・「ポタジェファムの販路開拓」ワークショップ ・「食品製造の始め方」セミナー 		
①	<p>令和4年5月～11月</p> <p>令和4年11月</p> <p>令和4年12月</p>	<p>2 会員の農産物を活用した「野菜セット」「加工品セット」商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セット商品の企画・検討（商品の種類・包装資材・価格・販売先等） ・ギフト用掛け紙の作製 ・ロゴマークを活用したシールの作製 <p>3 商品 PR・販路開拓のためのマルシェの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テスト販売の実施 	<p>委託費（ギフト用掛け紙デザイン・印刷一式）69,350円</p> <p>消耗品費(包装資材費)5,155円</p> <p>委託費(シールデザイン・印刷業務一式)37,540円</p> <p>印刷製本費(組織紹介資料印刷費)30,000円</p>	

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

5 女性農業者確保の目標

事業実施年度翌年度までの女性農業者の新規確保人数	20人
(新規確保女性農業者の内訳)	
自営農業就業者 15人、雇用就農者 人、アルバイト・ボランティア等 5人	

(注) 必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

女性農業者は、新規参入者、自営農業就農者（結婚を機に就農された方含む）、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等を含む農業関連事業従事年間30日以上の方とします。農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含みます。